

令和5年度青森県発達障害者支援地域協議会

青森県発達障害者支援センター「わかば」（津軽地域）の 取組状況及び今後の方向性

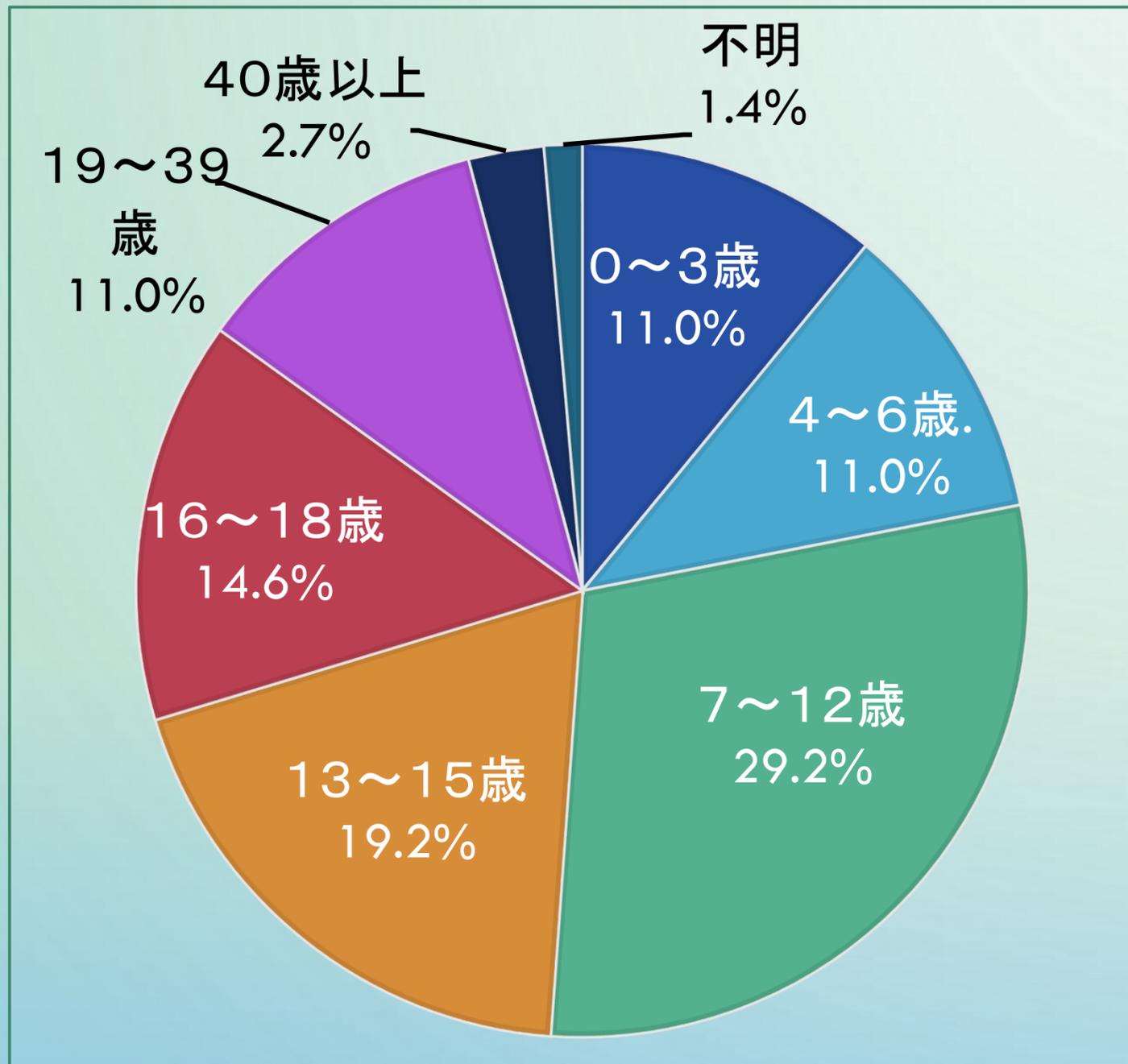
令和6年1月22日（月）

令和5年度事業実施状況（R5. 4月 ～ R5. 11月末）

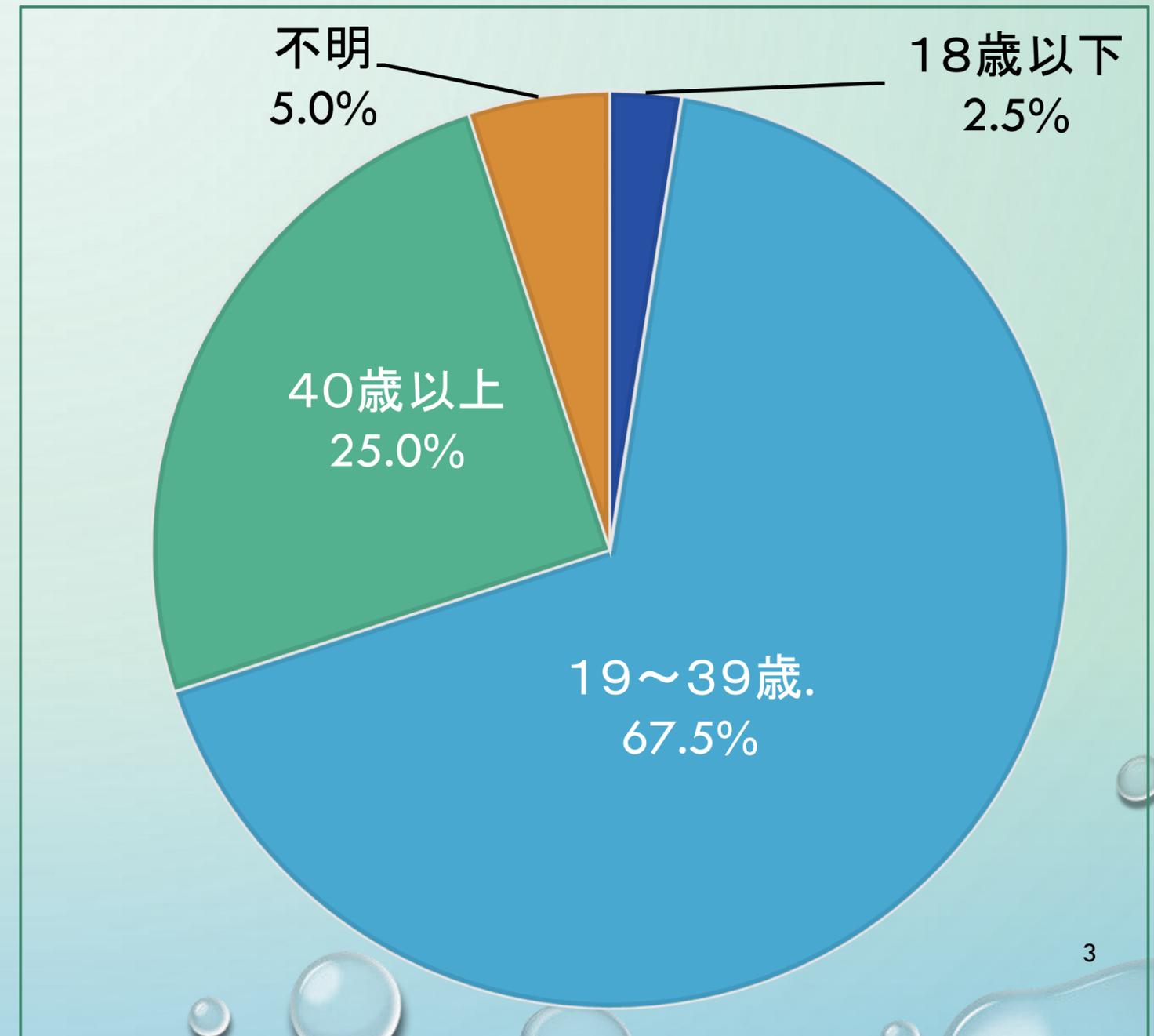
発達支援	実支援件数	219名
	延支援件数	498名
就労支援	実支援件数	40名
	延支援件数	85名
センター主催・共催で企画した研修会	8回 参加者	160名
外部から講師依頼を受けた研修会	7回 参加者	338名
他の協議会への参加状況	20回	
関係機関職員への助言 （機関コンサルテーション）	36件	
調整会議	6回	

年齢別割合

発達支援



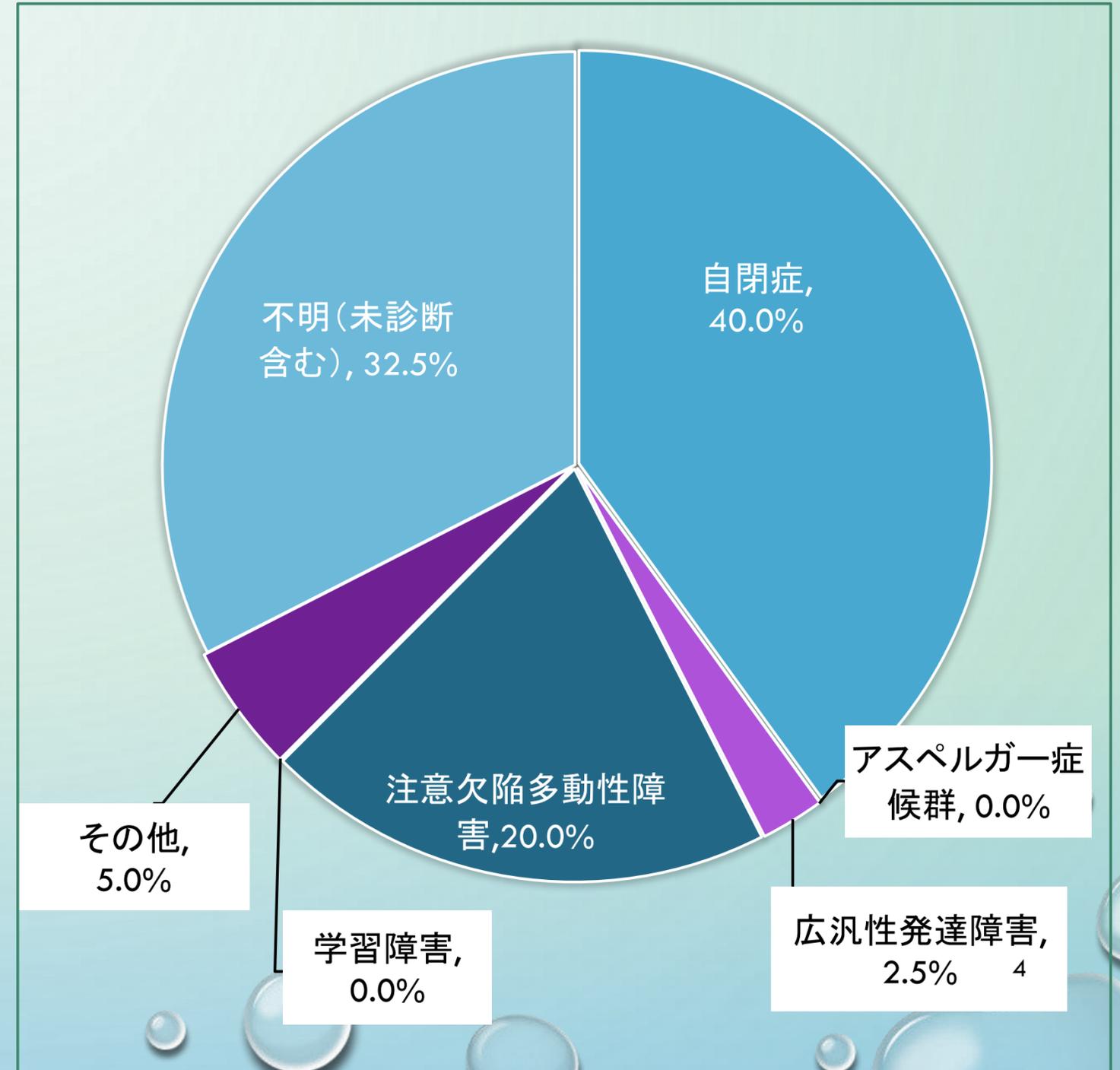
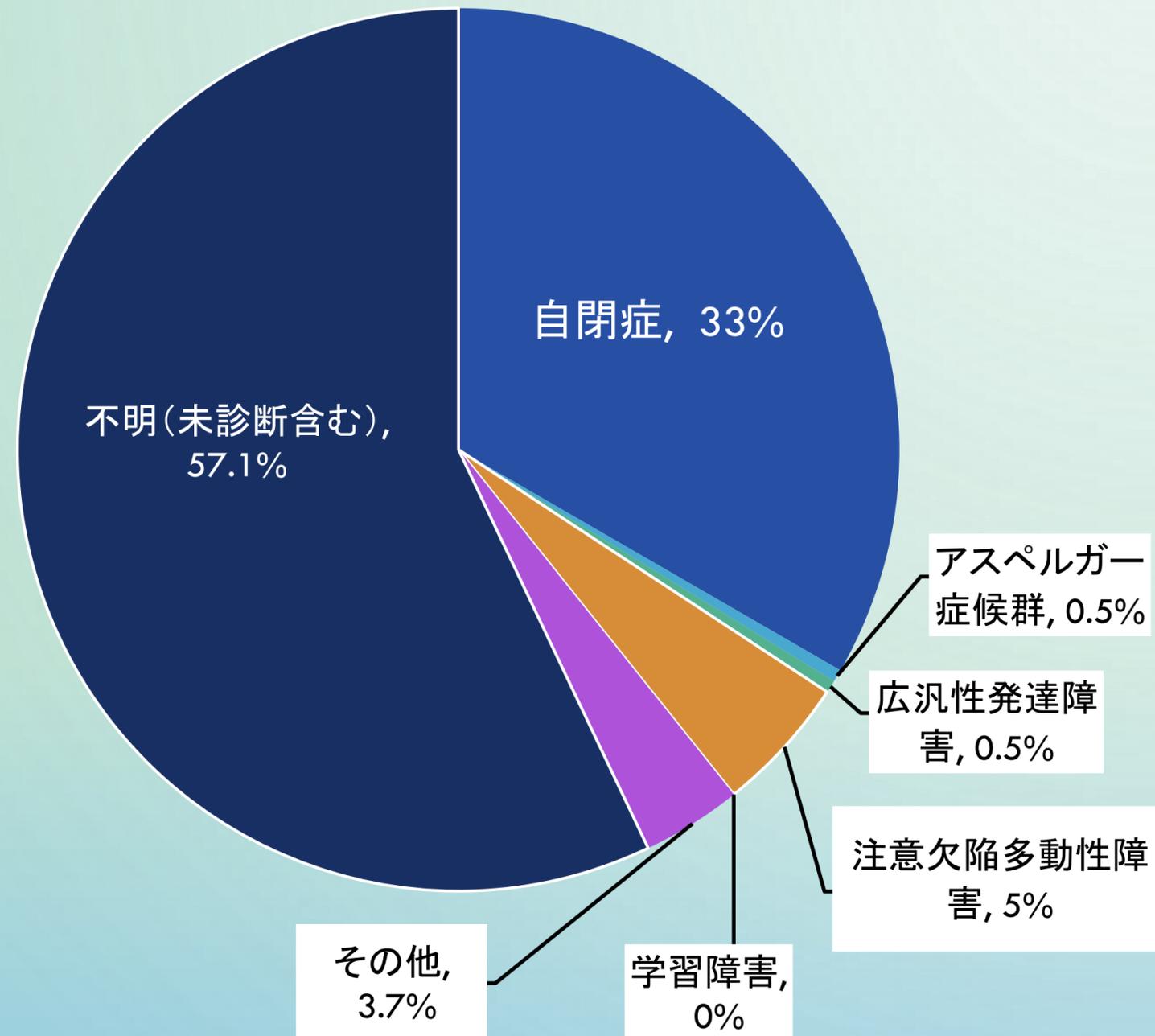
就労支援



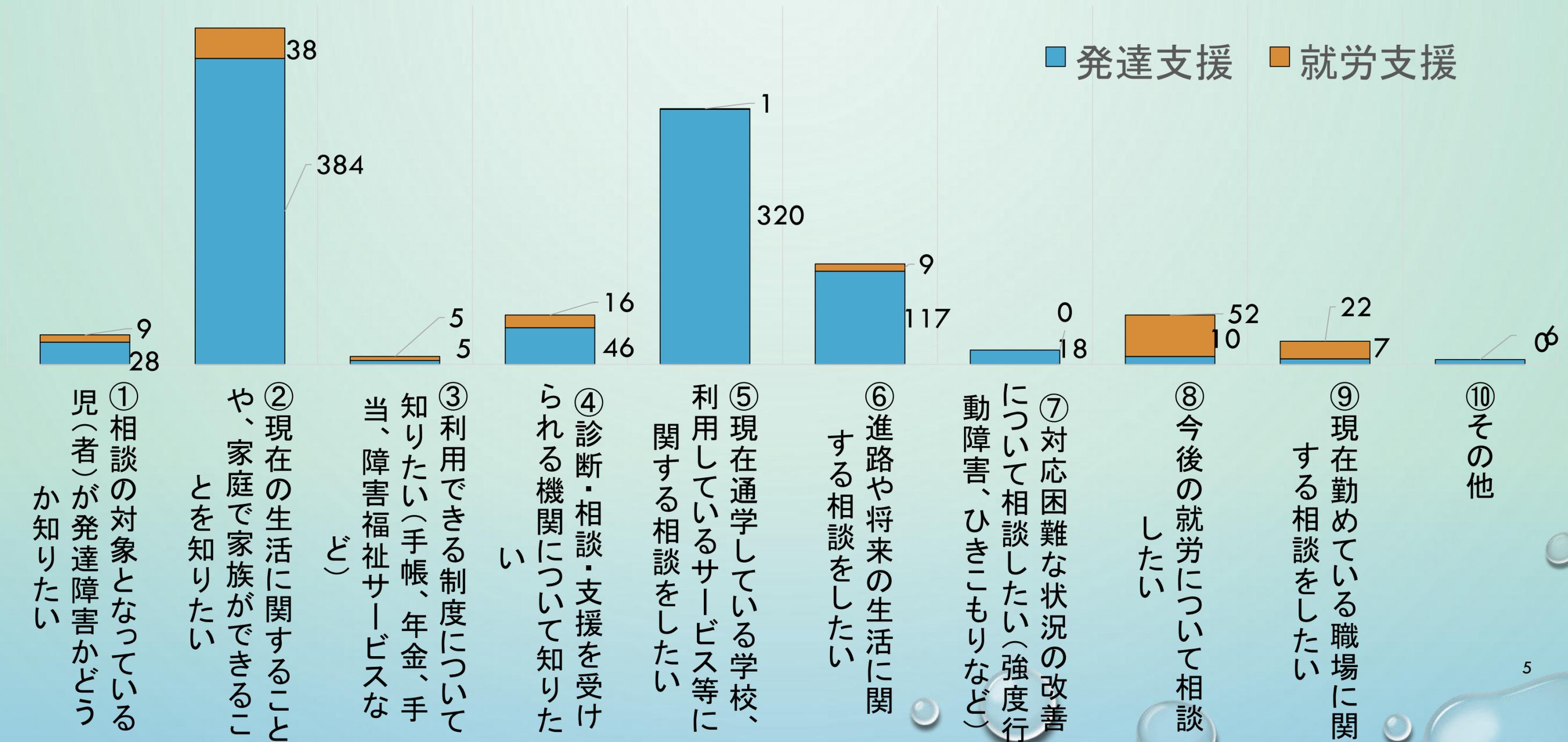
障害種別割合

発達支援

就労支援

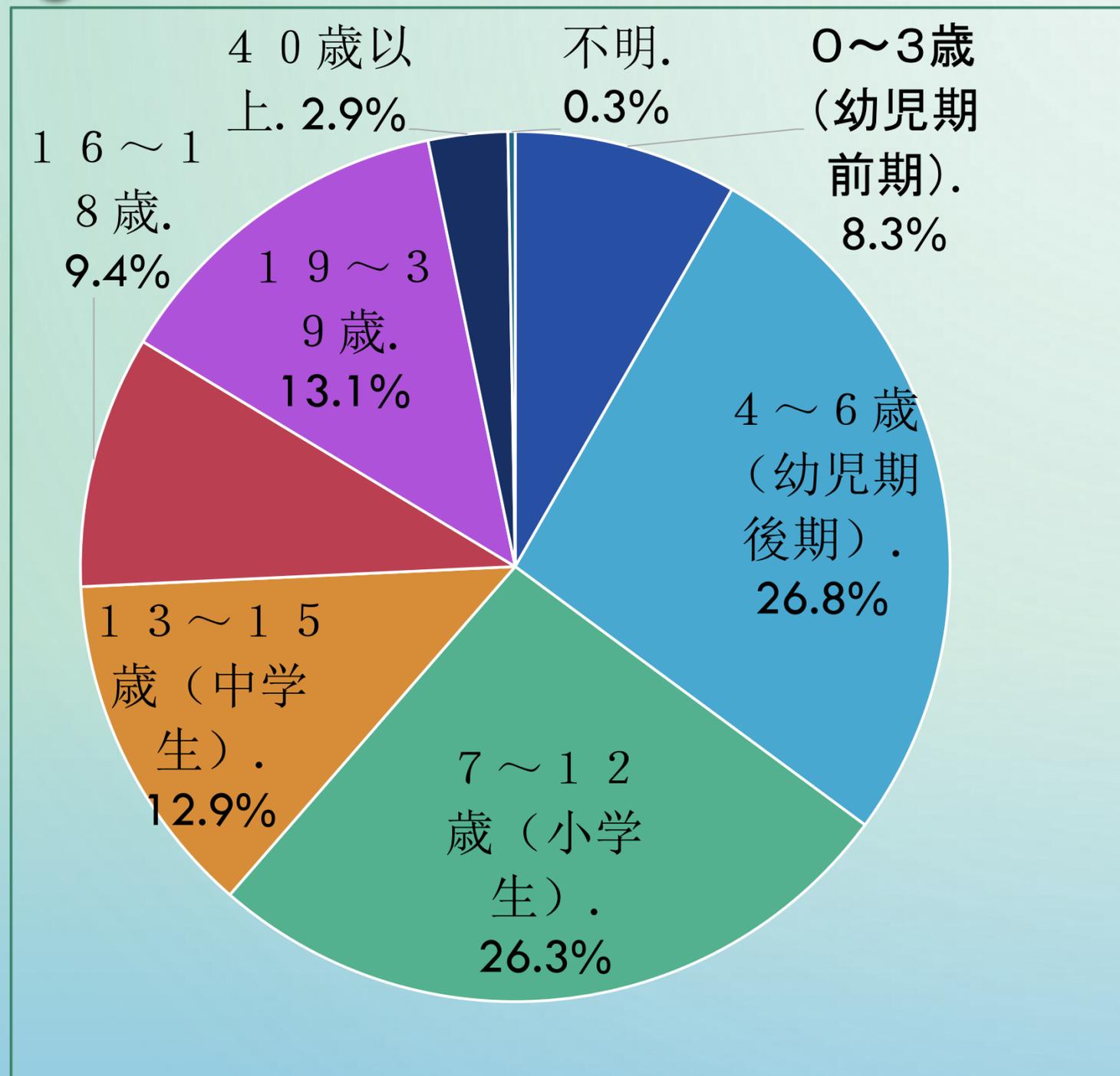


相談内容（延べ件数：重複）

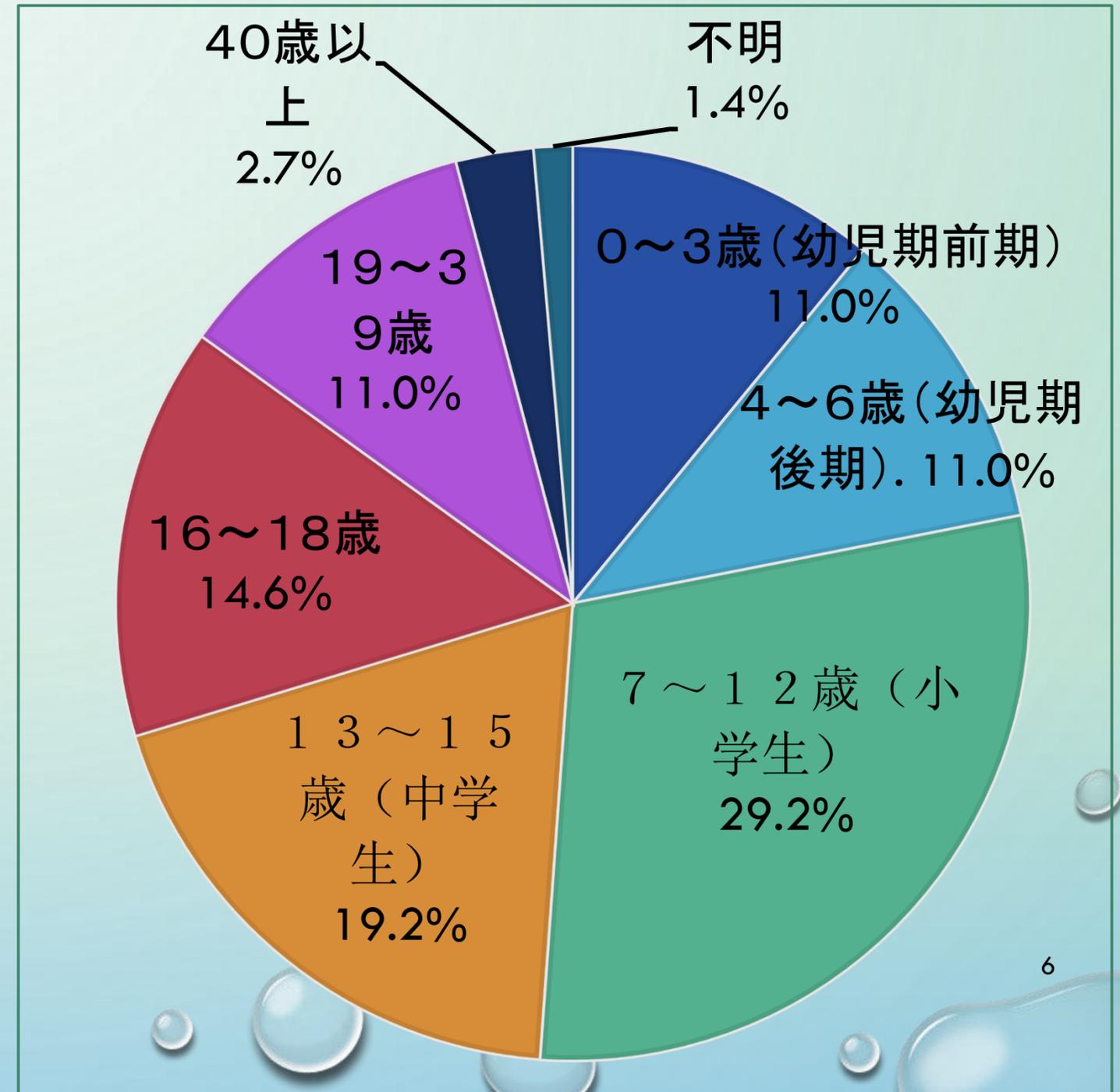


発達支援 相談者割合比較

令和元年度

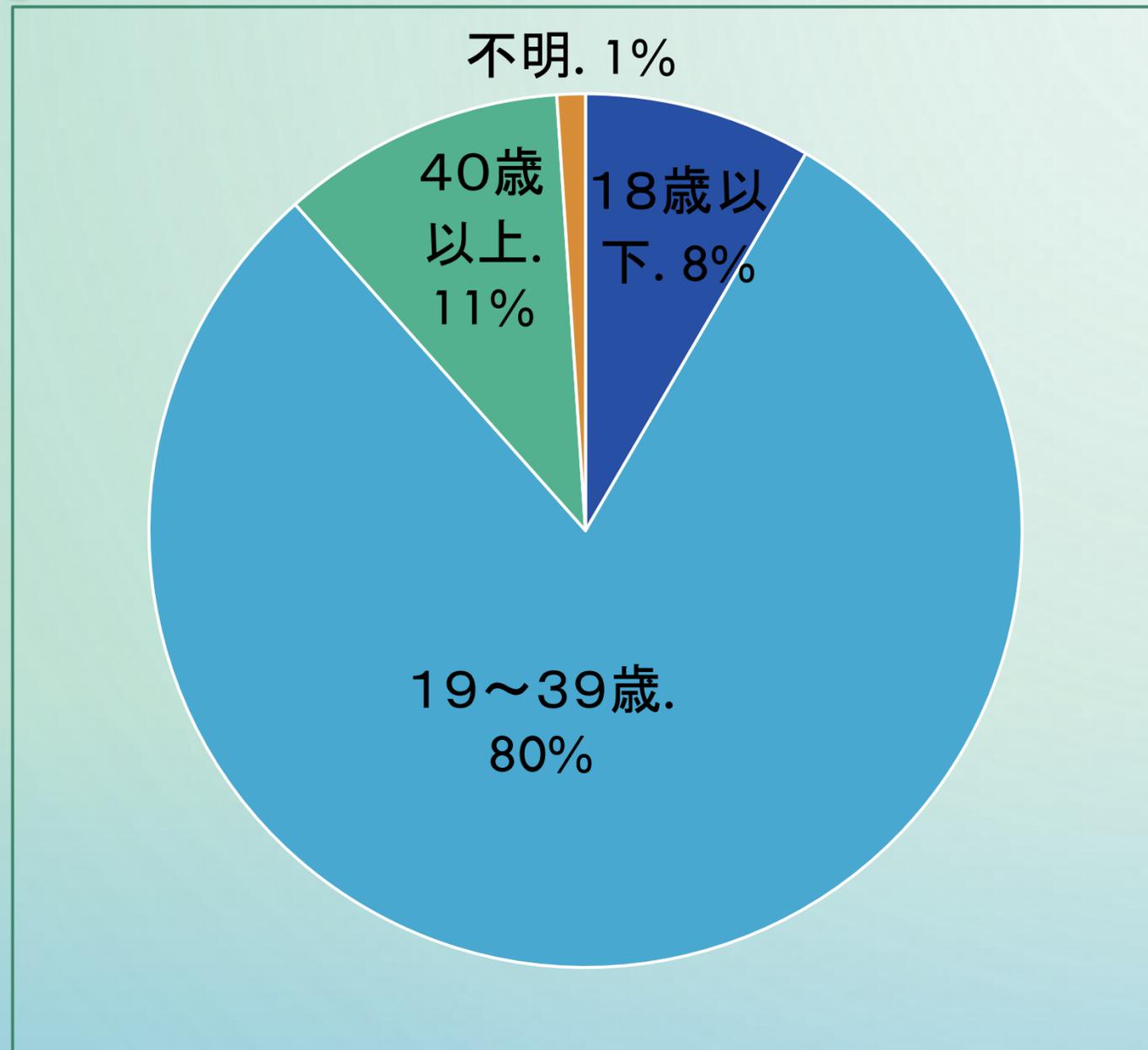


令和5年度

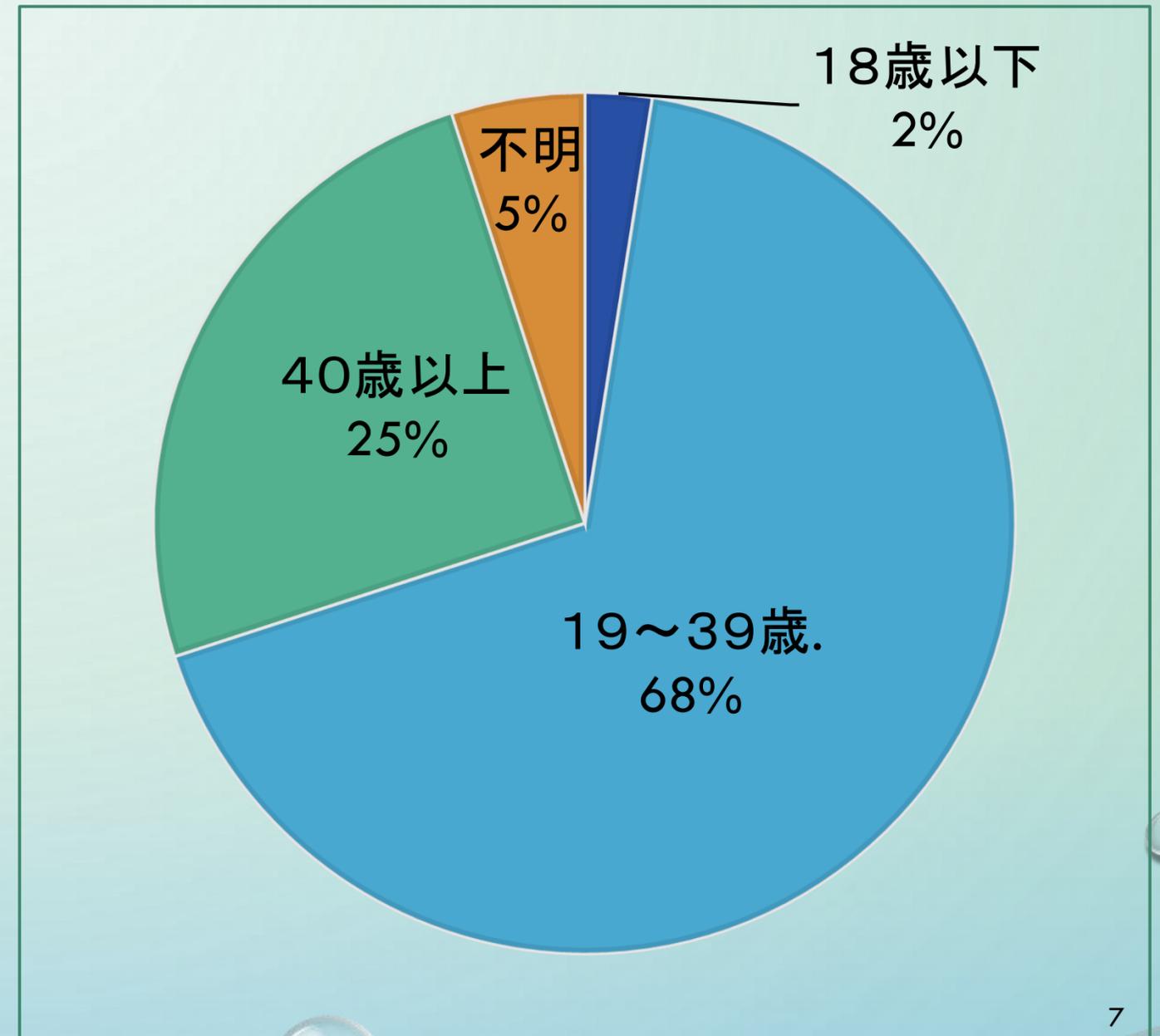


就労支援 相談者割合比較

令和元年度



令和5年度



講師依頼を受けた研修会

- 県教育委員会初任者研修（特別支援学校）
- 民生委員・児童委員研修会
- 五所川原市学区教職員研修会
- 五所川原市中学校生徒向け講話会
- 放課後等ディサービス・学童クラブなどの職員研修会

発達障害者支援地域連携強化事業

- 担当地域の認定こども園・支援機関を対象とし、市町村行政職員、保健師、教育機関、保育士、幼稚園教諭、保育教諭等との連携により、発達障害児等のニーズ把握に努め、適切な支援が行われるよう巡回相談や定期健診への相談対応を通じて助言指導または情報提供等を行う。
- 対象地域：深浦町

【幼児健診（1.6歳、3歳児）】

3回（4月・7月・10月）実施

相談件数 12名

【巡回相談】

6回（5・6・7・8・10・11月）実施

相談件数：18件（5箇所）

事例検討会 1回実施

発達障害児者支援スキルアップ研修事業

『強度行動障害支援フォーラム』

日時：10月5日 13:30～17:00 (Zoom)

【基調講演】

『強度行動障害のある方をチームで支える 地域で支える』

講師 神田 宏 氏

(横浜市発達障害者支援センター 発達障害者地域支援マネージャー)

【シンポジウム】

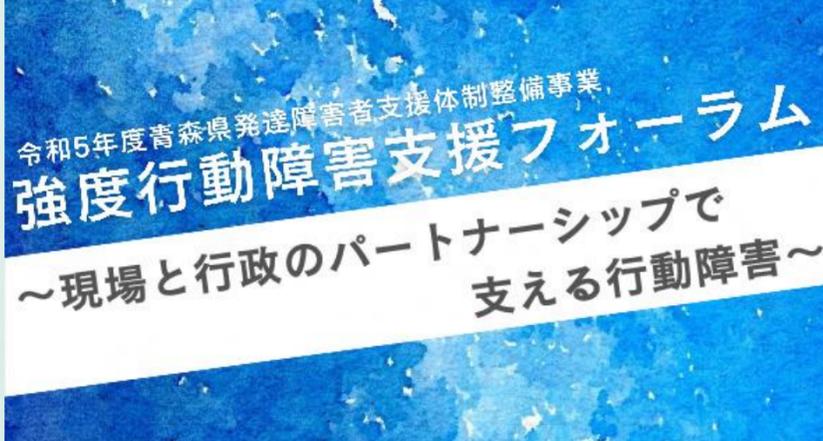
『行政と現場のパートナーシップで支える行動障害』

- 片桐 公彦 氏 (社会福祉法人みんなでいきる理事
元厚生労働省虐待防止専門官)
- 加藤 恵 氏 (社会福祉法人半田市社会福祉協議会
半田市障がい者相談センターセンター長)
- 其田 真一氏 (社会福祉法人あーるとマネージャー)

コーディネーター

大橋 一之氏 (社会福祉法人あーると理事長)

参加者：56名



令和5年度青森県発達障害者支援体制整備事業
強度行動障害支援フォーラム
～現場と行政のパートナーシップで
支える行動障害～

目的
近年強度行動障害の状態になってしまった方の施設の受け皿の少なさが改めて問題化してきている。受け入れにあたっては、施設側に一定の支援の専門性が求められる他、障害支援区分の適切な認定や虐待防止への取り組みなど、行政側からの理解や支援も欠かすことはできない。
本フォーラムは、諸々の課題を明らかにしつつ、地域の支援体制を改善していくことを目的とし開催する。

日時 令和5年10月6日(金) 13:30～17:00

場所/定員 オンライン(ZOOM) 100名 参加無料

対象者 市町村の障害福祉担当課、障害支援区分調査員、(自立支援) 議会担当課、相談支援専門員、福祉施設職員
※その他の区分の方も申し込み可能ですが、上記の該当者を優先させていただきます。

内容 基調講演/シンポジウム 詳細は裏面に記載

お問い合わせ先 青森県発達障害者支援センター「わかば」(津軽地域)
TEL 0173-26-5254 FAX 0173-26-5255
MAIL kenshu@aor1d.com

主催 社会福祉法人あーると 青森県発達障害者支援センター「わかば」(津軽地域)
共催 青森県自閉症協会
後援 弘前市、黒石市、平川市、西目屋村、藤崎町、大鰐町、田舎館村、五所川原市、つがる市、中泊町、鶴田町、板柳町、鯉ヶ沢町、深浦町

- 青森県自閉症協会との共催
- 「わかば」圏域の全市町村後援

『強度行動障害支援フォーラム』参加者アンケート

- アンケートの「現場で構造化などの支援が提供できる環境にあるか」という問いに対し、「少し難しい」「無理だと思う」の回答が34.2%。理由としては、支援力不足や、現場で共通理解を図ることの難しさが挙げられた。
- アンケート結果の感想では、小さい頃からの支援の必要性や、教育現場での研修の必要性なども挙げられていた。今後も児童期の支援や教育に関わる機関にも周知を行い、継続して強度行動障害支援に関する研修を開催していくことが必要と思われる。

※Zoom開催で参加しやすかったこともあり、センター「わかば」の圏域以外からも20名以上の参加があった。強度行動障害支援についての関心の高さが伺えた。行政職の参加は少なかつたものの、圏域の全市町村から後援をいただいたことで周知がなされ、参加につながった。

発達障害児者支援スキルアップ研修事業

『発達障害児者支援スキルアップ基礎研修』

幼児期・児童期における発達障害の特性理解と支援について

日時：令和5年11月16日・17日
9：30～16：30

講師：平川 大輔氏
(特定非営利活動法人ら・ぽると理事長) 他4名

対象者：幼児期～児童期に関わる支援に従事している支援者

参加者：延べ 56名

- ※「ステップ」と共催で開催
- ※「青森県子どもの発達支援ガイドブック」の内容を盛り込んだ研修内容。受講者には1冊ずつ配布



『発達障害児者支援スキルアップ基礎研修』受講者の感想

- 研修の前は困った行動に対して「困るな、大変だな、どうしたらいいんだろう。」と大人目線での困り感だったなと痛感しました。
- 園内やクラス担任内で共有し、その子の行動の背景には何があるのか考えていきたい。
- 今後は特性を理解しながら行動の背景、環境、どうしたらその子にとって無理なく過ごしやすい状況を作ってあげられるのかを大切に支援を繋げていきたい
- 行動の理由や背景、適切な行動を増やす関り方なども教えていただいたので今後の支援に活かしていきたい。

※例年、幼児期・学童期の支援に関わる職員対象に研修会を開催しているが、教育に携わる職員の参加が少ない状況が続いている。

家族サポート応援事業

『ペアレント・プログラム（平川市）』

平川市後援により開催

開催期間：令和5年9月～12月
事前研修＋6回連続講座

場 所：平川市役所 会議室

講 師：松田 美也子氏（子ども発達サポートnico）

参加者：保護者 6名 支援者 5名

※全6回終了支援者 2名



『ペアレント・プログラム』参加者の感想から

- ペアプロに参加し、子育てのイライラが減った。
- 子育てをする上でとても参考になった。
- 機会があればまた参加したい。
- こういう機会がないと現状把握表などで自分を知る機会がなかったなのでとても勉強になった。
- 自然に子供にも優しく広い心になれた。

※ペアプロ全6回に参加した支援者や資格認定を受けた支援者は増えてきているが、実践につながっていない。

今後実施予定の事業

『ペアレント・プログラム』

- ◆県内の6回修了者・資格認証者について、その後の実践などの実態調査
- ◆ペアレント・プログラム②の開催
 - ・資格認証者が実践するためのサポート
 - ・自治体で実施していくためのサポート

『ピア・サポート』

- ◆これまでのペアレント・プログラムに参加した保護者さん対象に茶話会を開催
 - ・内容：ペア・プロのおさらい
情報交換
(メンターさんの協力も得ながら)
 - ・開催時期：令和6年2月頃

今後の方向性

◆地域連携強化事業

- 乳幼児健診への協力や巡回相談を継続

◆スキルアップ研修事業

- 強度行動障害支援に関する研修会などの開催
- 小中学生の支援に向けた内容で研修会を開催

◆家族サポート応援事業

- 各地域でペアレント・プログラムを実践するためのサポート体制を構築
(資格認証者が実際にプログラムを実践できるようなしくみ)
- ピアサポートとして、中高生の当事者同士が同じ悩みを共有できるような活動を企画